

金沢美術工芸大学

KANAZAWA COLLEGE OF ART

社会連携研究成果報告書 2021

人に夢を。 地域に活力を。 ビジネスに未来を。

金沢美術工芸大学の 創造力を、 あなたの事業に お役立てください。

金沢美術工芸大学では、社会連携センターを拠点に、広く企業や研究機関・公共団体などの連携活動を推進しています。

POLICY 理念

金沢美術工芸大学は社会貢献を、教育と研究に並ぶ大学の使命と位置づけ、地域連携・産学連携を通して積極的に社会貢献を行います。

1. 本学の持つ美術工芸分野の専門知識や技術、社会連携で得られた成果を広く社会に還元します。
2. 地域の産業と積極的に連携を図り、地域社会の活性化に貢献します。
3. 社会との連携活動を体験することで、より実践的に社会に寄与できる人材を育成します。

SYSTEM 活動体制

テーマの規模や内容、状況に応じて、様々な研究方法・スタイルを準備しています。詳細はお問い合わせください。

研究制度

共同研究

企業や教育機関より研究者・研究経費等を受け入れ、共通の課題について対等な立場で研究を行う制度

受託研究

企業等から委託を受け、委託者の負担する経費で研究を行い、その成果を委託者に報告する制度

研究体制

プロジェクト型（課外活動型）

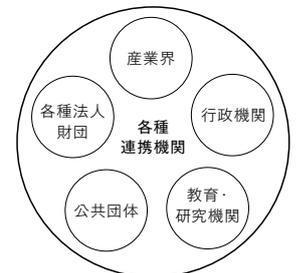
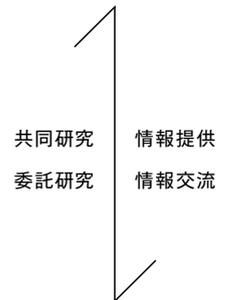
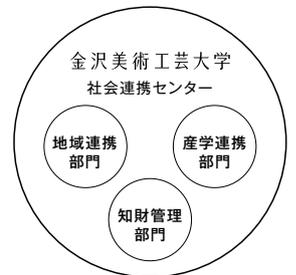
教員の指導により研究を推進。学生の新しい視点での発想、現実性の高い成果が期待できます。

プロフェッショナル型

教員との研究。ハイレベルで実践的な研究成果が期待できます。

NETWORK 社会連携

他大学・研究機関とのパートナーシップを深め、実現性の高いハイクラスの研究を推進します。



FLOW 活動の流れ

以下のような、求められる課題や相談に対し、よりよき成果をめざして、確かな体制と綿密プロセスをベースに研究を進めています。

■商品の企画・開発にデザインを利用したい

■CI・ブランド開発にデザインを活用したい

■マーケティングにデザインを活用したい

■店舗・施設の開発にデザインを活用したい

■伝統工芸の専門技術を商品開発に活用したい

■美術（芸術）分野の専門知識を商品開発に活用したい



- ・研究目的
- ・研究体制・研究方法
- ・研究期間・研究予算
- ・研究成果予測
- ・その他事務手続き等



- ・経費明細
- ・支払条件等



- ・知的財産権の取扱い
- ・研究成果の公表時期
- ・機密保持に関する取り決め等



- ・オリエンテーション
- ・調査
- ・研究・デザイン制作等
- ・プレゼンテーション
- ・試作
- ・製品化等

事例に応じた研究内容をご用意できます。



- ・研究成果報告書の作成
- ・特許等の出願・契約等の締結

FIELD 活動領域

美術・工芸・デザインから芸術学まで、本学に蓄積された有形無形の資産をベースに、気鋭のプロフェッショナル達がハイレベルの研究活動を推進します。

本学の教員は、それぞれが独立したプロの作家、デザイナー、研究者です。活躍する分野はもちろん、年齢、経歴、ネットワークも様々な人材が、才能にあふれる学生たちとともに連携事業の研究活動を推進します。

美術系

日本画 / 油画 / 彫刻 / 芸術学

デザイン系

視覚デザイン / 製品デザイン / 環境デザイン / ファッションデザイン

工芸系

陶磁 / 漆・木工 / 鋳金・彫鍛金 / 染・織

専門領域分野

ヴィジュアルコミュニケーション
 広告デザイン
 サインデザイン
 映像・メディアデザイン
 Web デザイン
 パッケージデザイン
 ユニバーサルデザイン
 インターフェイスデザイン
 情報機器デザイン
 輸送機器デザイン
 家具デザイン
 生活関連用品デザイン
 都市計画デザイン
 建築デザイン
 インテリアデザイン
 ディスプレイデザイン
 ランドスケープデザイン
 ファッションデザイン
 テキスタイルデザイン
 陶芸
 漆芸
 木工
 彫鍛金
 鋳金
 染織
 モニュメント
 壁画
 材料・修復

過去5年間の社会連携研究数

年 度	総 数	地域連携事業	産学連携事業	連携協定事業
2017 (H29)	33	11	16	6
2018 (H30)	32	21	8	3
2019 (R1)	29	13	11	5
2020 (R2)	17	8	7	2
2021 (R3)	27	13	13	1
計	138	66	55	17

※報告書掲載数は複数年に渡る事業も含む。

149 >> 161

149	金沢マラソン 2021 完走メダルデザイン	6
150	ホスピタリティアート・プロジェクト 第28回 第10回 ホスピタルギャラリー	7
151	かなざわ時計	8
152	かなざわエコフェスタ 2021 ダンボールエコアート展事業	9
153	ゼロカーボンシティかなざわ 情報発信事業	10
154	「金沢市パートナーシップ宣誓書受領証」 制作及び受領証カードのデザイン制作	11
155	「金沢市動物愛護」マスコットキャラクターおよび 犬鑑札票及び狂犬病予防注射済票 デザイン制作	12
156	金沢市内庭園調査	13
157	「金沢市図書館カード」デザイン制作	14
158	「金沢未来のまち創造館」ロゴマーク等のデザイン制作	15
159	金沢市企業局新愛称ロゴデザイン制作	16
160	金沢美大選抜展 in 問屋町	17
161	石川県立盲学校「触れてみる彫刻展」	18

149

金沢マラソン 2021 完走メダルデザイン

金沢マラソンは2020年新たな装いに大会デザインを一新し開催される予定であったが、新型コロナウイルス感染対策の為中止となった。2021年は参加ランナーを制限するなどの感染対策を徹底し、10月31日に開催することができた。その完走者約12,000名に贈るメダルを地域連携事業として受託し、学生と共にデザイン制作を行った。

昨年度のアイデア12案含め22案の提案を行い、最終的には木下航輔さんのデザインが採用された。疾走する風とランナーをコンセプトに、新しい造形表現で、世界に通用する素敵なデザインに仕上がった。



一次選考通過デザインモデル6案



記者発表

【委託者】

金沢市
文化スポーツ局 金沢マラソン推進課

【期間】

2021年3月—2022年3月

【研究体制】

プロジェクト型

【担当教員】

浅野 隆 教授 デザイン科製品デザイン専攻

【参加学生】

岩井 優典	製品デザイン専攻4年
金丸 侑平	製品デザイン専攻4年
黒田 絢子	製品デザイン専攻4年
後藤 采蘭	製品デザイン専攻4年
塚竜 之輔	製品デザイン専攻4年
中山 綾音	製品デザイン専攻4年
名和 かのん	製品デザイン専攻4年
藤井 香菜子	製品デザイン専攻4年
森岡 さくら	製品デザイン専攻4年
諸井 千倅	製品デザイン専攻4年
一本木 幸紀	製品デザイン専攻3年
木下 航輔	製品デザイン専攻3年
齋藤 袖香	製品デザイン専攻3年
鷹野 すみれ	製品デザイン専攻3年
中根 海人	製品デザイン専攻3年
中根 康博	製品デザイン専攻3年
廣瀬 由羽	製品デザイン専攻3年
松野 修誠	製品デザイン専攻3年
宮崎 貴裕	製品デザイン専攻3年
山下 聖奈	製品デザイン専攻3年

【開発日程】

2021年

4月1日 オリエンテーション
コンセプト、条件等の提示

4月1～21日 アイディアスケッチ募集

～4月28日 制作上の問題点改修

4月30日 アイディアプレゼンテーション

5月10日 第1次選考通過6案

6月上旬 マラソン推進課にプレゼン

6月中 第2次選考 最終案決定

7月中旬 図面、CMF等
試作用指示書提出

8月・9月 試作、試作品デザインフォロー

10月 メダル完成

10月31日 金沢マラソン当日、メダル配布
場所にボランティアで応援



量産されたメダル（マラソン会場で配布）



デザインが採用された木下君（マラソン会場にて）

150

ホスピタリティアート・プロジェクト 第28回 第10回 ホスピタルギャラリー

ホスピタリティアート・プロジェクトは、金沢市立病院と本学との連携により、医療分野におけるアートの潜在的な可能性を探求する事を目的とした研究である。プロジェクトの一環であるホスピタルギャラリーは、アートが患者さんの治療と生活の質の改善を手助けし、また病院が地域社会における身近な交流の場となることを目的として平成24年度に第1回展が開催された。以後出品点数を増やししながら周辺地域の共感も得、2019年まで第8回展を数えている。病院の待合ホールに期間限定の「美術館」を設置するこの試みは全国的にみても珍しく、各メディア・学術方面からも注目されている。

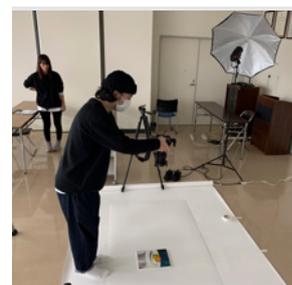
2020年度の第9回展は感染症予防に配慮し、第8回展出品作の中から37点をWEBサイト上でのデジタルギャラリーとして開催した。プロジェクト第28回の企画となる第10回展は前年度同様に感染症予防に配慮し、患者さんや地域の医療関係者から募った作品68点をWEBサイト上でのデジタルギャラリーとして開催した。



作品搬入・受付



作品撮影



作品撮影

【委託者】

金沢市立病院

【期間】

2021年9月～2022年3月
WEB公開 2022年3月11日～

【研究体制】

プロジェクト型

【担当教員】

三浦 賢治 教授 美術科油画専攻
ホスピタリティアート・コーディネーター
岩崎 純 准教授 美術科油画専攻

【参加学生】

高山 桃歌 油画専攻3年
第10回展募集要項
表紙デザイン担当

【金沢市立病院 ホスピタリティアート・プロジェクトメンバー】

高田 重男 病院事業管理者
松下 栄紀 院長
瀬野 晶子 医局、診療部副部長、
小児科長
中西 清香 医局、耳鼻咽喉科長
中町 麻紀子 看護部副部長
安土 佳宏 放射線室副室長
海道 一恵 臨床検査室
角野 忠昭 臨床検査室
新谷 圭子 薬剤室
松本 拓也 事務局
夏畑 敬之 事務局
中川 大和 事務局
越原 智弘 事務局

【開発日程】

2021年

9月13日 第1回合同企画会議
9月～10月 募集要項作成
10月15日 第2回合同企画会議

2022年

1月19日 第3回合同企画会議
2月18日、19日 作品搬入、写真撮影
2月～ WEBギャラリーサイト制作
3月11日～ WEB公開

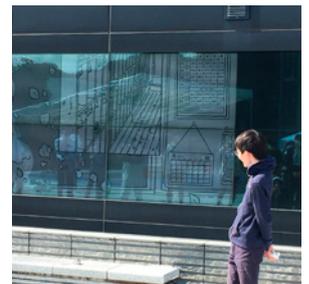


ホスピタルギャラリー WEB サイト
<https://kanazawa-hospital-gallery.jp>

151

金沢市の市役所前の大型サイネージにて、学生の制作した時刻をお知らせする映像が毎時きっかりに流れる。映像は20秒ほどで、学生全員が繰り返し放映される。映像は必ず開始10秒で時刻を表す数字が出現するようにデザインされている。新型コロナウイルス第一波の中で行われたため、授業はすべてオンラインで行われた。

かなざわ時計



学生の作品が上映される様子



学生の作品が上映される様子

【委託者】

金沢市 都市政策局 広報広聴課

【期間】

2021年4月—5月

放映期間:

2021年9月1日—2022年3月31日

【研究体制】

プロジェクト型

【担当教員】

下浜 臨太郎 講師 デザイン科視覚デザイン専攻

【参加学生】

青山 豊野	視覚デザイン専攻2年
赤松 弥彦	視覚デザイン専攻2年
麻生 香凜	視覚デザイン専攻2年
足立 音羽	視覚デザイン専攻2年
伊藤 菜々葉	視覚デザイン専攻2年
伊藤 優汰	視覚デザイン専攻2年
大谷 周	視覚デザイン専攻2年
乙幡 向日葵	視覚デザイン専攻2年
梶崎 有花	視覚デザイン専攻2年
相良 実和	視覚デザイン専攻2年
佐藤 璃青	視覚デザイン専攻2年
角田 優紀	視覚デザイン専攻2年
多賀 絵里衣	視覚デザイン専攻2年
竹萬 拓人	視覚デザイン専攻2年
中尾 蘭	視覚デザイン専攻2年
中村 侑芽奈	視覚デザイン専攻2年
溝口 佳菜	視覚デザイン専攻2年
宗像 紗未	視覚デザイン専攻2年

【開発日程】

2021年

4月9日	練習制作ワークショップ01
4月15日	練習制作ワークショップ02
4月27日	時報制作開始
5月21日	時報プレゼンテーション

152

かなざわエコフェスタ 2021 ダンボールエコアート展事業

2021年11月29日かなざわエコフェスタの会場内に展示するダンボールエコアート作品の制作・展示を行った。

今年もダンボール課題で制作した作品を展示させていただいた。

視覚デザイン専攻1年生のダンボール課題は、使用済みのダンボールのみを使い自由に立体作品を制作する課題である。一つの素材から、切る、曲げる、剥がすなどの加工作業を通じて、ダンボールの特性を活かした表現を模索し、全方向からの鑑賞に耐えられる作品を制作する。蔓延防止対策で展示予定が延期や会場変更するも、開催することができた。



会場内展示風景



会場内展示風景

【委託者】

株式会社日本エージェンシー

【期間】

2021年7月～12月

【研究体制】

プロジェクト型

【担当教員】

樺島 脩 講師 デザイン科視覚デザイン専攻
下浜 臨太郎 講師 デザイン科視覚デザイン専攻

【参加学生】

井田 有紀	視覚デザイン専攻1年
城戸 咲喜花	視覚デザイン専攻1年
窪田 陽菜	視覚デザイン専攻1年
後藤 菜瑠	視覚デザイン専攻1年
坂口 歩	視覚デザイン専攻1年
鈴木 若菜	視覚デザイン専攻1年
武部 由季	視覚デザイン専攻1年
谷口 咲	視覚デザイン専攻1年
寺地 ユカリ	視覚デザイン専攻1年
仲谷 健輔	視覚デザイン専攻1年
長浜 隼翔	視覚デザイン専攻1年
中村 知香	視覚デザイン専攻1年
橋本 珠く	視覚デザイン専攻1年
林 花	視覚デザイン専攻1年
藤枝 駿太郎	視覚デザイン専攻1年
藤本 裕人	視覚デザイン専攻1年
丸田 哲平	視覚デザイン専攻1年
宮澤 つぐみ	視覚デザイン専攻1年
山本 彩香	視覚デザイン専攻1年
山本 美月	視覚デザイン専攻1年

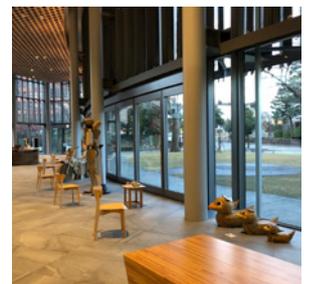
【開発日程】

2021年

7月19日 オリエンテーション
概要、課題条件説明
7月20日 制作開始
8月2日 プレゼンテーション
11月29日 金沢エコフェスタ期間中、
金沢市第2本庁舎にて展示
展示計画、展示ポスター、
展示レイアウト、搬出搬入
12月6日 戸室リサイクルプラザの展示
展示計画、展示ポスター、
展示レイアウト、搬入



会場内展示風景



会場内展示風景

153

ゼロカーボンシティかなざわ 情報発信事業

金沢市が表明している、2050年二酸化炭素排出ゼロを達成する「ゼロカーボンシティかなざわ」を市民により効果的に啓発するため学生の斬新な視点で検討した、市民に向けての企画提案を求められた。最終的な提案は金沢市長および市役所担当者同席でおこなった。参加学生にとって、市役所担当者からのオリエンテーション、プレゼンテーションへ向けてのリハーサル、会場設営など学内の演習では得られない貴重な経験をすることができた。

制作したポスターは、市役所庁舎ホールにてプレゼンテーション後、市民の方々へ公開展示された。その他提案した企画提案ツール等は、次年度以降 SNS など公開される予定。

地球からの愛のさざやきカレンダー



市役所担当よりオリエンテーション



市役所庁舎ポスター展示

【委託者】
金沢市 環境局
ゼロカーボンシティ推進室

【期間】
2021年7月～2022年3月

【研究体制】
プロジェクト型

【担当教員】
寺井 剛敏 教授 デザイン科視覚デザイン専攻

【参加学生】

青山 豊野	視覚デザイン専攻2年生
赤松 弥彦	視覚デザイン専攻2年生
麻生 香凛	視覚デザイン専攻2年生
足立 音羽	視覚デザイン専攻2年生
伊藤 菜々葉	視覚デザイン専攻2年生
伊藤 優汰	視覚デザイン専攻2年生
大谷 周	視覚デザイン専攻2年生
乙幡 向日葵	視覚デザイン専攻2年生
梶崎 有花	視覚デザイン専攻2年生
相良 実和	視覚デザイン専攻2年生
佐藤 璃青	視覚デザイン専攻2年生
角田 優紀	視覚デザイン専攻2年生
多賀 絵里衣	視覚デザイン専攻2年生
竹萬 拓人	視覚デザイン専攻2年生
中尾 蘭	視覚デザイン専攻2年生
中村 侑芽奈	視覚デザイン専攻2年生
溝口 佳菜	視覚デザイン専攻2年生
宗像 紗未	視覚デザイン専攻2年生

【開発日程】

2021年

7月27日 市役所ご担当よりオリエンテーション

7月末～9月末 各チームにて調査及び企画検討

10月1日 学内オリエンテーション

10月5日～6日 福井先生講義（ポスター案検討）

10月21日～22日 福井先生講義（企画確認）

10月24日 市役所にてリハーサル

10月25日 市役所にて金沢市長へプレゼンテーション

12月1日～12月6日 市役所にてポスター展示



各チームへ市長からのコメント



プレゼンテーション終了後集合写真

154

「金沢市パートナーシップ宣誓書受領証」制作及び受領証カードのデザイン制作



金沢市で始まる「パートナーシップ宣誓制度」に合わせ、宣誓書受領証と受領カードのデザイン制作依頼を受けた。授業などで学生と接しているジェンダー平等や多様性について関心のある学生は多く、本件は若者にとって身近な問題になっている。宣誓書全体のデザイントーンを探る中で、パートナーシップ宣誓はお2人にとって特別な出来事なので、公式感があつた方がいいと思うと同時に、お役所書類では楽しくない。遊び心があり洗練された唯一無二のものを、と考え、宣誓書と保管用書類に2人で割印するというアイデアを提案した。証書のおもて面には、目が醒めるような蛍光の虹色を配し、学生が原案を考えた印章は銀色のインクでスタンプされる。これら通常の印刷では再現することのできない色を用いることで、幾重にも層をなす祝福と多様な個性が内包する金沢市を表現している。また、直筆での署名を考慮して、コンケラーというプレミアムペーパーを証書用紙に選んだ。しっとりときめ細やかな繊維は万年筆の滑りもよく、宣誓書に品格を与える。



2人で割印することによって唯一無二の宣誓書となる



学生のアイデアを元にブラッシュアップされた図案



宣誓書のフォーマット



ミーティングの様子。各々が考えたアイデアを出し合い図案を検討した

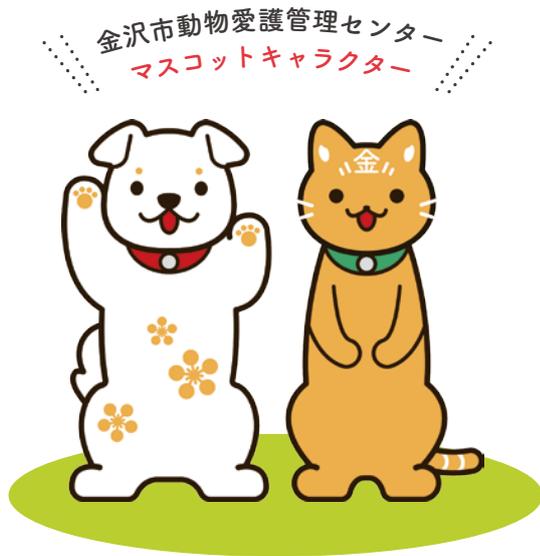
【委託者】
金沢市 市民局 ダイバーシティ権政策課
【期間】
2021年4月～7月
【研究体制】
プロジェクト型
【担当教員】
坂野 徹 准教授 デザイン科視覚デザイン専攻

【参加学生】
浦田 朋佳 視覚デザイン専攻4年
出口 遥菜 視覚デザイン専攻4年
伊藤 さと 視覚デザイン専攻3年
江森 敬大 視覚デザイン専攻3年
東 百合恵 視覚デザイン専攻3年
松本 梓 視覚デザイン専攻3年
山本 千穂 視覚デザイン専攻3年

【開発日程】	
2021年	
4月2日	市役所にて仕様説明
4月19日	第1回ミーティング (オリエンテーション)
4月21日	第2回ミーティング
4月23日	第3回ミーティング
4月30日	第4回ミーティング
5月6日	第5回ミーティング (4案に絞られる)
5月12日	第6回ミーティング (市役所の方を交えてのプレゼンテーション)
5月17日	第7回ミーティング (2案に絞られる)
5月25日	「パートナーシップ宣誓書受領証」入稿
5月26日	第8回ミーティング (決定案確定)
6月15日	受領証200枚、受領証用判子1点納品
6月16日	「パートナーシップ宣誓書カード」入稿
7月1日	「パートナーシップ宣誓制度」制度開始

155

「金沢市動物愛護」マスコットキャラクター および犬鑑札票及び狂犬病予防注射済票 デザイン制作



ペットの適正飼養や終生飼養、狂犬病予防などを飼い主に呼びかけるなど、人と動物が幸せに暮らすまちづくりのために、金沢市の動物愛護の取り組みをサポートしてくれるマスコットキャラクターのデザイン制作依頼を受け、製品デザイン専攻4年の授業として取り組んだ。

一次選考で選ばれた5案を市民投票で選挙し、田中侑実さんのデザインに決定した。キャラクターは、犬鑑札票、注射済票、その他「金沢わん手帳」や動物愛護センターが使用する書類などに展開され、動物愛護センターのロゴマークは動物愛護の輪をイメージし、犬猫の殺処分ゼロを目指し、命の大切さを伝える想いが込められている。



金沢市動物愛護管理センター

🐾 Kanazawa Animal Welfare Center 🐾

マスコットキャラクター

【委託者】
金沢市 福祉健康局 保健所 衛生指導課
【期間】
2021年6月～2022年3月
【研究体制】
プロジェクト型
【担当教員】
浅野 隆 教授 デザイン科製品デザイン専攻

【参加学生】	
石塚 聖吾	製品デザイン専攻4年
市川 真莉	製品デザイン専攻4年
岩井 優典	製品デザイン専攻4年
鬼丸 拓也	製品デザイン専攻4年
金丸 侑平	製品デザイン専攻4年
黒田 絢子	製品デザイン専攻4年
後藤 采蘭	製品デザイン専攻4年
近藤 桃子	製品デザイン専攻4年
坂田 七海	製品デザイン専攻4年
坂元 ゆりの	製品デザイン専攻4年
鈴木 凱道	製品デザイン専攻4年
関根 理人	製品デザイン専攻4年
田中 侑実	製品デザイン専攻4年
塚 竜之輔	製品デザイン専攻4年
中山 綾鈴	製品デザイン専攻4年
藤井 香菜子	製品デザイン専攻4年
古路 萌絵	製品デザイン専攻4年
松尾 龍成	製品デザイン専攻4年
森岡 さくら	製品デザイン専攻4年
諸井 千倅	製品デザイン専攻4年

ロゴマーク

【開発日程】	
2021年	
6月2日	オリエンテーション コンセプト、条件等の提示
6月2～11月	アイデアスケッチ募集
6月14日	アイデア中間発表(学内)
6月16日	アイデア発表会(集会ホール)
7月8日	第1次選考案通達(5案) デザインフラッシュアップ
9月17日～10月6日	動物愛護フェスティバルで投票 金沢市ホームページで市民投票
10月11日	投票結果集計、1案に決定 犬鑑札票、注射済票に展開 ロゴマーク制作
2022年	
4月	令和4年度よりデザイン採用



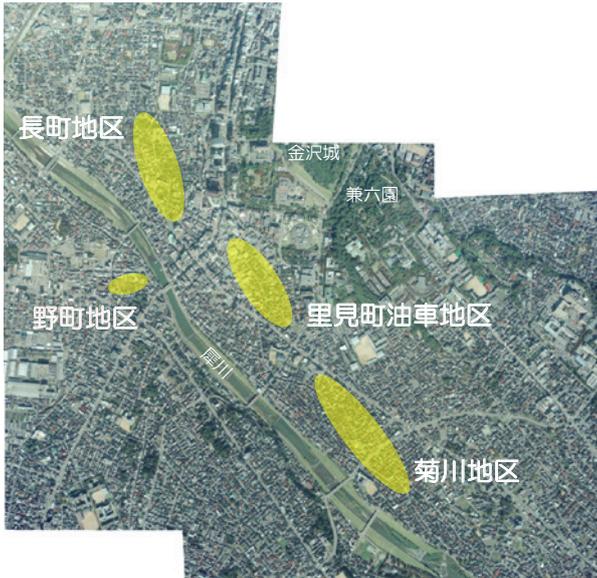
キャラクター記者発表



金沢わん手帳(左)、犬鑑札(右上)注射済票(右下)

156

金沢市内庭園調査



調査対象地区（地理院タイルを加工して作成）



用水沿い庭園調査エリア

【委託者】
金沢市 文化スポーツ局 文化財保護課

【参加学生】
なし

【期間】
2021年7月～2022年2月

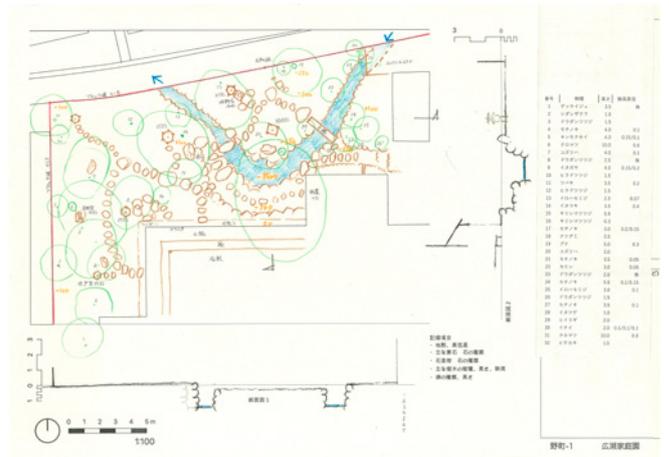
【研究体制】
プロフェッショナル型

【担当教員】
鏑 隆弘 教授 デザイン科環境デザイン専攻

金沢市内のまちなかエリア（旧城下町の範囲）には歴史的な建物や庭園、豊かに流れる用水が織りなす町並みの風情がいまも保たれている。なかでも、作庭から長い年月を経て継承されている庭園は「森の都金沢」の造園文化を示す、次代に引き継いでいくべき貴重な歴史遺産といえる。近年の市街地中心部の空洞化において、町家の減少が指摘される中、その保全が行われているが、建物に伴う庭園について現状が把握されていない。

今回の調査では、現状把握を目的に現地において歴史的な背景などについての聞き取り、庭園の平面図、断面図の作成を行った。対象とした庭園は、市内中心部を流れる鞍月用水、大野庄用水を中心にその近辺に存在するもので、40ヶ所を越える候補のうち30ヶ所について記録を作成した。

調査より得られた情報は、内容の分析の後、今後の保全に向けた対策に活かされる。



庭園調査平面図例

基本情報		調査情報	
名称	所在地	調査日時	調査者
野町-1	金沢市野町	2021年8月	鏑 隆弘
調査種別	庭園調査	調査方法	現地調査
調査対象	庭園	調査範囲	庭園内
調査内容	庭園の平面図、断面図の作成	調査結果	庭園の平面図、断面図の作成

庭園調査記録例

基本情報		調査情報	
名称	所在地	調査日時	調査者
野町-1	金沢市野町	2021年8月	鏑 隆弘
調査種別	庭園調査	調査方法	現地調査
調査対象	庭園	調査範囲	庭園内
調査内容	庭園の平面図、断面図の作成	調査結果	庭園の平面図、断面図の作成

庭園調査記録例

157

現行図書館カード作成から、25年が経過しているため、令和4年度の新子ども図書館開館を契機とし、図書館カードをリニューアルするためデザイン制作を依頼された。デザイン性に富んだカードで付加価値を付け、新たな利用者を獲得する方向で地元若手クリエイターに機会を提供しデザインの制作を進めた。

最終的なデザインは、来館者などから投票をおこない、投票結果をもとに決定した。

「金沢市図書館カード」デザイン制作



[委託者]
金沢市図書館総務課

[期間]
2021年4月～10月

[研究体制]
プロフェッショナル型

[担当教員]
寺井 剛敏 教授 デザイン科視覚デザイン専攻

[協力]
金沢アートディレクターズクラブ

[開発日程]

2021年

4月初旬 依頼方法の検討と調整
4月15日 3名のデザイナーへ
オリエンテーション
5月10日 デザイナー3名より提案
6月7日 4案に絞り込み
6月10日～27日
新デザイン投票期間
8月18日 最終1案に決定
8月20日～最終デザイン案修正作業
9月3日 最終データ納品

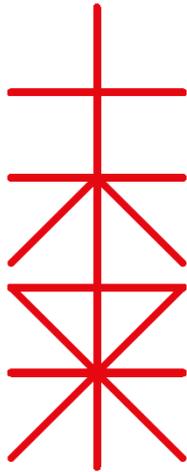


新デザイン投票

158

金沢市より、2021年8月に開設する「金沢未来のまち創造館」の認知度を高めるためのロゴマーク制作の必要性が検討され、国内外に施設をアピール・発信していくため、施設の魅力をアップさせるなど条件をふまえた、ロゴマーク制作を依頼された。

「金沢未来のまち創造館」 ロゴマーク等のデザイン制作



金 沢 未 来
の
ま ち
創 造 館

KANAZAWA MIRAI NO MACHI
CREATION CENTER



ロゴバリエーション



ステートメント

【委託者】
金沢市 経済局 産業政策課
価値創造拠点整備室

【期間】
2021年4月—12月

【研究体制】
プロフェッショナル型

【担当教員】
寺井 剛敏 教授 デザイン科視覚デザイン専攻

【協 力】
金沢アートディレクターズクラブ
電通西日本北陸支社

【開発日程】

2021年

4月初旬 依頼方法の検討と調整
4月13日 デザイナー2名への
オリエンテーション
4月14日 現場視察
5月6日 デザイナー2名より
デザイン案提案
5月10日～ 市役所にて意匠調査
6月7日 デザイン案決定
6月中旬～ デザインアイテム制作
9月下旬 マニュアル納品



グラフィックバリエーション

159

現在、金沢市企業局のシンボルマークとして、公用車、封筒、職員の名刺、ホームページなど、様々な場所で利用されており、企業局のシンボルマークとして市民に広く認知されているマークとなっている。ガス・発電事業譲渡後も現状のシンボルマークを使用すると、市民に混乱を招く恐れがあり、4月の事業譲渡後に合わせて、シンボルマークを一新し、上下水道事業を主要事業とする新たな企業局をアピールする、シンボルマーク制作を依頼された。

金沢市企業局新愛称ロゴデザイン制作

いつもの水を、いつも。



金沢市企業局

BUREAU OF
WATERWORKS
AND SEWERAGE
KANAZAWA

基本形ロゴ



ステートメント



封筒デザイン

【委託者】	金沢市 企業局
【期間】	2021年9月—2022年3月
【研究体制】	プロフェッショナル型
【担当教員】	寺井 剛敏 教授 デザイン科視覚デザイン専攻

【協力】	電通西日本北陸支社
------	-----------

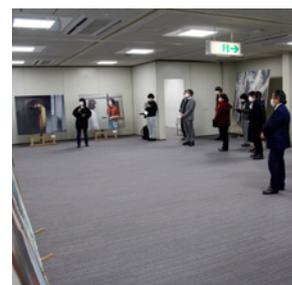
【開発日程】	
2021年	
9月下旬	依頼方法の検討と調整
10月初旬	デザイナー3名への オリエンテーション
10月下旬	デザイナー3名よりプロポーザ ルプレゼンテーション
11月2日	1名に決定
12月6日	デザイン案プレゼンテーション
2022年	
1月中旬	最終デザイン案決定、 デザイン制作スタート
3月1日	記者発表
3月中	デザインアイテム制作
3月末	デザインマニュアル納品

160

金沢美大選抜展 in 問屋町

協同組合金沢問屋センターと金沢美術工芸大学は2010年5月18日、歴史ある「問屋町」の今後の魅力と活力ある街づくり推進にあたり、「ビジネスの街」という要素に加え、「文化の香り」を創出することを目指して協定を結び、以来様々な取り組みを行ってきた。

本年度は本学大学院修士課程絵画専攻・彫刻専攻1年生および研究生15名による選抜展覧会を開催した。地域や問屋町で働かれていますの方々に個性豊かな作品から芸術表現の多様性や広がりを感じていただければと考えた。出品者が自作を語るアーティストトークもを行い、鑑賞のポイントを紹介した。また、中作品、小作品の展示も行い、アートをより身近に感じていただけたと思う。



[委託者]

協同組合金沢問屋センター

[期間]

2021年9月—2022年2月

[研究体制]

プロジェクト型

[担当教員]

石田 陽介 教授 美術科彫刻専攻
 荒木 恵信 准教授 美術科日本画専攻
 岩崎 純 准教授 美術科油画専攻

[参加学生]

片山 開登 大学院 修士課程 絵画専攻日本画コース1年
 川田 美有 大学院 修士課程 絵画専攻日本画コース1年
 新田 彩乃 大学院 修士課程 絵画専攻日本画コース1年
 森 花 大学院 修士課程 絵画専攻日本画コース1年
 合田 果帆 大学院 修士課程 絵画専攻油画コース1年
 中井 輪 大学院 修士課程 絵画専攻油画コース1年
 松田 菜美恵 大学院 修士課程 絵画専攻油画コース1年
 山田 美智子 大学院 修士課程 絵画専攻油画コース1年
 笹井 南海 大学院 修士課程 彫刻専攻1年
 先崎 瑠莉 大学院 修士課程 彫刻専攻1年
 多々見 草太 大学院 修士課程 彫刻専攻1年
 深尾 俊文 大学院 修士課程 彫刻専攻1年
 皆川 嘉孝 大学院 修士課程 彫刻専攻1年
 王 一多 彫刻専攻研究生
 山岸 眞弥 彫刻専攻研究生

[開発日程]

2021年

9月15日 協同組合金沢問屋センター街力発信委員会開催
 10月1日 問屋町活性化事業美術展素案提出
 11月8日 大学院生を集めて説明会
 11月15日 現地下見
 12月10日 フライヤー制作開始

2022年

1月21日 出品作品確認
 2月14日 搬入展示作業、関係者向けアーティストトーク
 2月19日 アーティストトーク
 2月21日 作品搬出



161

石川県立盲学校 「触れてみる彫刻展」

本展覧会は視覚に障害のある児童生徒の身近な場所に彫刻作品を展示することで、時間をかけてゆっくりと作品を鑑賞する機会を設けることを目的とし、例年は石川県立盲学校の文化祭を挟んだ時期に、本学彫刻専攻の学生の作品を展示するものであるが、昨年度に続き新型コロナウイルス感染症の対策に万全を期し北陸日彫会との合同で1日限定の開催となった。この展覧会は平成19年度から毎年開催しており、継続的に取り組むことで、視覚に障害がある児童生徒も鑑賞力が向上し、美術に親しむよい機会となっている。

1日限定ではあるが、この状況下で開催できたことに意義を感じる。



【委託者】
石川県立盲学校

【期間】
2021年11月—12月

【研究体制】
プロジェクト型

【担当教員】
石田 陽介 教授 美術科彫刻専攻

【参加学生】

田中 鈴花	彫刻専攻2年
中村 美穂	彫刻専攻2年
三橋 真子	彫刻専攻2年
上田 千裕	彫刻専攻1年
奥村 花菜	彫刻専攻1年
河野 楓	彫刻専攻1年
小島 涼	彫刻専攻1年

【開催日程】

2021年

11月9日 盲学校瀬川校長より「触れてみる彫刻展」の開催について依頼

11月中旬 彫刻専攻の授業作品から展示作品の選抜

11月29日 作品リスト
出品者の解説文送付

12月6日 作品搬入・展示 鑑賞会
作品搬出



140 ➤➤ 152

140	「JAPAN プライドポテト 金沢の甘えび」パッケージデザイン提案	20
141	金沢市伝統環境調和地区における工事現場仮囲いのデザイン制作	21
142	「これからのエンターテイメント」 自身のビジョンを振り下げてエンターテイメントの未来を洞察	22
143	2030 年代、あなたが夢中になれる世界、 その世界でリスペクトされるライフスタイルとそこに合うモビリティ	23
144	新しい価値を持ったメガネフレームのデザイン研究 個人提案「自分の好きな映画×メガネ」 チーム提案「コロナ対策のメガネ」	24
145	店舗リニューアルにおける店内壁面のアート装飾	25
146	ダイダン株式会社 北陸支店新社屋 洗面ボウル制作	26
147	ビル内移動・サービス向け UI/UX アイデア展開	27
148	冬季イルミネーションの空間演出計画	28
149	「これからの TAKE OUT 容器」デザイン研究	29
150	石巻レインボーハウス ワークショップのデザインと実施	30
151	「毎日新聞創刊 150 年」新聞広告	31
152	新番組の番組キービジュアル、CG 映像の制作	32

140

「JAPAN プライドポテト 金沢の甘えび」 パッケージデザイン提案

湖池屋 JAPAN プライドポテトは「日本の誇り」をプライドポテトにのせて発信することで、日本の風土・文化により育まれてきた歴史や精神に象徴される日本の素晴らしさを世の中に広めるプロジェクトで、前回のデザイン案も好評だったことから、昨年に引き続き金沢美術工芸大学の学生にデザイン提案をしてもらい共同で金沢を盛り上げたいと依頼があった。

味の方向性は金沢を代表する甘えびで継続し、今回は最終 6 案を金沢市内小学 5 年生 3,400 人と市民などに投票してもらい総選挙をおこない広く意見を募集した。約 3 万件の投票結果をふまえ、最終的に 2 案が商品化され全国発売されることになった。

売上の一部は、本学と金沢市へ寄付された。今回のプロジェクトが好評であり、次年度も継続することが決定している。



デザインが採用された学生



金沢市長と記者発表

【委託者】
株式会社湖池屋

【期間】
2021年2月～9月

【研究体制】
プロジェクト型

【担当教員】
寺井 剛敏 教授 デザイン科視覚デザイン専攻

【参加学生】

荒井 涼香	視覚デザイン専攻 3年
池田 楓太	視覚デザイン専攻 3年
石井 美優	視覚デザイン専攻 3年
伊藤 さと	視覚デザイン専攻 3年
植木 鼓	視覚デザイン専攻 3年
江森 敬大	視覚デザイン専攻 3年
尾田 千恵美	視覚デザイン専攻 3年
甲佐 優莉佳	視覚デザイン専攻 3年
古家後 はるか	視覚デザイン専攻 3年
永田 幸	視覚デザイン専攻 3年
根上 大成	視覚デザイン専攻 3年
東 百合恵	視覚デザイン専攻 3年
松本 梓	視覚デザイン専攻 3年
三橋 洋斗	視覚デザイン専攻 3年
宮上 聖菜	視覚デザイン専攻 3年
山元 太陽	視覚デザイン専攻 3年
山本 千穂	視覚デザイン専攻 3年
行本 美晴	視覚デザイン専攻 3年
米原 奏衣	視覚デザイン専攻 3年
田嶋 千寛	視覚デザイン専攻 3年
青山 豊野	視覚デザイン専攻 2年
赤松 弥彦	視覚デザイン専攻 2年
麻生 香凜	視覚デザイン専攻 2年
乙幡 向日葵	視覚デザイン専攻 2年
梶崎 有花	視覚デザイン専攻 2年
相良 実和	視覚デザイン専攻 2年
佐藤 璃青	視覚デザイン専攻 2年
多賀 絵里衣	視覚デザイン専攻 2年
竹萬 拓人	視覚デザイン専攻 2年
倉 雅晴	大学院 視覚デザインコース 2年

【開発日程】

2021年

2月7日	オンラインにて、オリエンテーション
3月5日	学生からの提案締め切り、湖池屋へ送付
3月14日	1次選考通過者 12名決定
3月26日	1次選考通過者データ修正提出
3月31日	2次選考通過者 5名決定
4月5日	2次選考通過者修正バージョン送付
4月22日～5月21日	6案について、デザイン総選挙(得票総数約3万件)
5月27日	最終2案商品化決定
6月～8月	データ修正、校正、店頭ツールデータ作成など
9月3日	市役所にて新商品発表会(山野市長、佐藤社長リモート参加)
9月6日	全国コンビニエンスストア発売
9月13日	全国スーパーマーケット、ドラッグストアなど一般店発売



市内小学校での総選挙



プロジェクトに参加した学生たち

141

金沢市伝統環境調和地区における
工事現場仮囲いのデザイン制作

ダイダシ株式会社北陸支店建替えプロジェクトの一環で建設現場の仮囲いを発表の場としたデザインコンペティションを、環境デザイン学生を対象に実施した。同支店が市内の伝統環境調和地区に立地することから、この場所を想定敷地として伝統と革新が融合した次世代のサービス・建築デザインの創出を目指した。単純に街並みに溶け込む建物をデザインするのではなく、フィールドワークからこの場所に必要なサービスを構想し、その実装の場として建物やインテリアをデザインする。ファサードで意識したのは現在の街並みに合わせるのではなく、これからの金沢の街並みや景観作りに貢献することである。

3～4年生から集まった案の中から優秀賞4作品(明石さん・加藤さん・高松さん・藤田さん)が選ばれ、同所にて展示された。仮囲い全体のアートディレクションも環境デザイン大学院生が担当した。金沢特有の道路と曇り空の色彩をモチーフにしたグラデーションカラーは伝統的な街並みに馴染む新たな仮囲いの在り方を示した。



建設予定地の見学会



金沢市長に作品説明

【委託者】

ダイダシ株式会社

【期間】

2021年3月～2022年2月

【研究体制】

プロジェクト型

【担当教員】

北村 賢哉 教授 デザイン科環境デザイン専攻

【参加学生】

加藤 ころこ 大学院
環境デザインコース2年

山野 一真 環境デザイン専攻4年
明石 怜旺 環境デザイン専攻3年
大山 真実 環境デザイン専攻3年
加藤 里菜 環境デザイン専攻3年
川畑 紗希 環境デザイン専攻3年
熊野 もも 環境デザイン専攻3年
志津田 有華 環境デザイン専攻3年
高松 樹里 環境デザイン専攻3年
田邊 晴香 環境デザイン専攻3年
樺山 信太 環境デザイン専攻3年
永井 ひかり 環境デザイン専攻3年
中崎 萌 環境デザイン専攻3年
早川 ひより 環境デザイン専攻3年
藤田 しずく 環境デザイン専攻3年
藤本 みのり 環境デザイン専攻3年

【開発日程】

2021年

4月28日 オリエンテーション
コンペティション概要説明

5月23日 北陸支店建設予定地(敷地)
見学会

6月4日 作品提出締め切り

6月11日 一次審査結果発表
入選作品11点が最終審査へ

7月21日 最終審査会 優秀賞4点、
奨励賞2点を選出

8月10日 仮囲い前期バージョンデザイン
検討会議

9月6日 現地でデザイン検討会

9月24日 仮囲い施工完了

9月30日 金沢市長に作品説明
金城楼にて表彰式開催

11月24日 仮囲い後期バージョン
デザイン検討会

12月17日 仮囲いリニューアル施工完了

2022年

2月10日 ビデオ撮影
街並みに調和する仮囲いデザ
インに関するインタビュー



金城楼において開催された表彰式



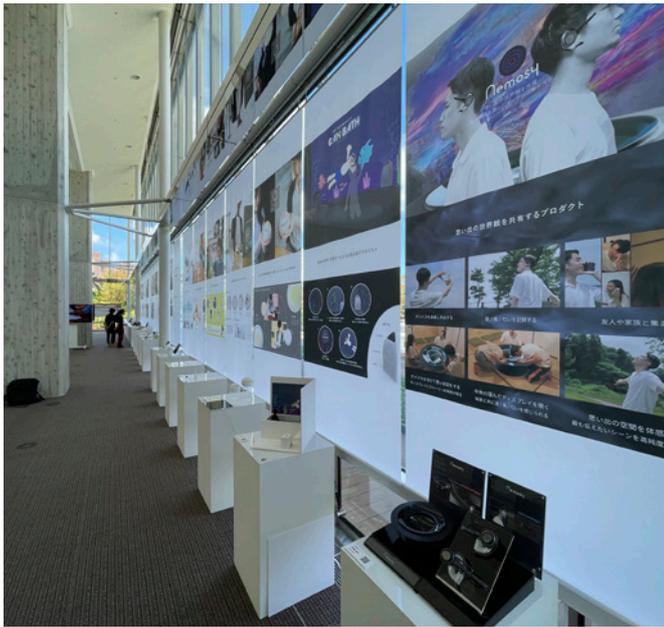
仮囲い後期バージョンの展示

142

「これからのエンターテインメント」 自身のビジョンを掘り下げて エンターテインメントの未来を洞察

スカパー JSATと本学が新しいエンターテインメントを創り出すために産学連携で共同研究を実施。メンターにはソニーの入矢真一、日立の丸山幸伸、NECの井手裕紀が指導にあたる。デザイン開発体制は、製品デザイン専攻の学生12名がメンターとチームを組み、各メンターの下で「これからのエンターテインメント」の研究開発を行った。

現在、社会は飛躍的なテクノロジーの進化に伴い、大きく変動し続けている。人々の暮らしや価値観も大きく揺れ動いている。まずは、個人が自身のビジョンを作り上げることで未来が洞察され、「これからのエンターテインメント」が見出されると考えて「VISIONARY THINKING」を授業のテーマに据えて取り組んだ。



しいのき迎賓館の展示の様子をオープンキャンパスで生配信



展示会場にて学生が一人ずつ順番に来客者にプレゼンテーション

【委託者】
スカパー JSAT 株式会社

【期間】
2021年4月～2022年3月

【研究体制】
授業導入型

【担当教員】
河崎 圭吾 教授 デザイン科製品デザイン専攻

【参加学生】

メンター 丸山 幸伸 株式会社日立製作所
 リーダー 中根 康博 製品デザイン専攻3年
 一本木 幸紀 製品デザイン専攻3年
 島崎 紗栄 製品デザイン専攻3年
 原 周平 製品デザイン専攻3年

メンター 入矢 真一 ソニーグループ株式会社
 リーダー 篝 佑伽 製品デザイン専攻3年
 鷹野 すみれ 製品デザイン専攻3年
 梶原 万穂 製品デザイン専攻3年
 松野 修誠 製品デザイン専攻3年

メンター 井手 裕紀 日本電気株式会社
 リーダー 山下 聖奈 製品デザイン専攻3年
 齋藤 柚香 製品デザイン専攻3年
 廣瀬 由羽 製品デザイン専攻3年
 中根 海人 製品デザイン専攻3年

【開発日程】

2021年

4月12日～ コンセプト展開
 4月30日～ アイデア展開
 5月7日～ デザイン検討
 5月25日～ デザインブラッシュアップ
 6月5日～ プレゼンデータ制作
 6月12日 最終プレゼンテーション
 9月19日～26日
 しいのき迎賓館にて展示開催
 オープニングイベント
 公開プレゼンテーション及び
 展示の様子を生配信

9月25日 講評会&講演会
 本学客員教授 落合陽一



客員教授の落合陽一先生に発表&講評を受けた後に記念撮影



しいのき迎賓館展示会場にて記念撮影

143

2030年代、あなたが夢中になれる世界、 その世界でリスペクトされるライフスタイル とそこに合うモビリティ

スズキとの産学連携を授業に取り込んで行うのは3回目、昨年からはビジョナリーシンキングの手法を使った思考方法で取り組んでいる。

今年は、自分自身の趣味嗜好から深掘りして、その分野の歴史を社会背景や自然現象なども含めて年表を作成し、そこで見出された気づきをインフォグラフィックスにまとめることから始めた。その年表を俯瞰しながら、スズキのテーマ「2030年代にリスペクトされるライフスタイルへ」と繋げ、最終的にモビリティのデザインに落とし込む。

参加学生を3つのグループに分け、それぞれスズキのデザイナーをメンターに配置して少人数で取り組む体制でプロのデザインプロセスを体験させることで教育的効果を高めることができた。

成果はしいのき迎賓館で展示会を開催し公表した。また、プロジェクトの全貌・全作品をアーカイブした冊子も発行した。



しいのき迎賓館で展示



デザインプロセス展示



図録

[委託者]

スズキ株式会社

[期間]

2021年4月～2022年3月

[研究体制]

授業導入型

[担当教員]

浅野 隆 教授 デザイン科製品デザイン専攻

[参加学生]

メンター 結城 康和 スズキ株式会社
 リーダー 實淵 諒 製品デザイン専攻3年
 高瀬 陸 製品デザイン専攻3年
 黒田 裕晟 製品デザイン専攻3年
 宮崎 貴裕 製品デザイン専攻3年

メンター 小笹 哲哉 スズキ株式会社
 リーダー 木下 航輔 製品デザイン専攻3年
 鬼丸 拓也 製品デザイン専攻3年
 野中 明斗 製品デザイン専攻3年
 堀内 太郎 製品デザイン専攻3年

メンター 服部 泰幸 スズキ株式会社
 リーダー 小畑 芽音 製品デザイン専攻3年
 岡橋 李笑 製品デザイン専攻3年
 岡本 直也 大学院 製品デザインコース1年

[開発日程]

2021年

- ～4月9日 事前課題：自分の深掘り論文
そのプロダクトを中心としたインフォグラフィックス年表作成
- 4月9日 授業スタート：事前課題発表
- 4月12日 スズキとのキックオフミーティング
- 4月16日 メンターとのチームミーティング（ライフスタイルコンセプト）
- 4月23日 チーム合同中間チェック
- 4月30日 メンターとのチームミーティング（コンセプトアイデア）
- 5月11日 中間発表
- 5月21日 メンターとのチームミーティング（モビリティアイデア）
- 5月28日 チーム合同中間チェック
プレゼンター制作
- 6月9日 パナー、冊子データ完成
- 6月11日 最終プレゼンテーション
- 8月11～ 3Dデータ作成
- 9月10日 3Dプリント完成塗装・仕上げ
- 9月17日 モデル完成
- 9月19日 搬入
- 9月19日～26日
しいのき迎賓館で展示会
- 9月25日 公開プレゼン・講習会
落合陽一 本学客員教授



座談会動画上映



落合陽一氏にプレゼンテーション

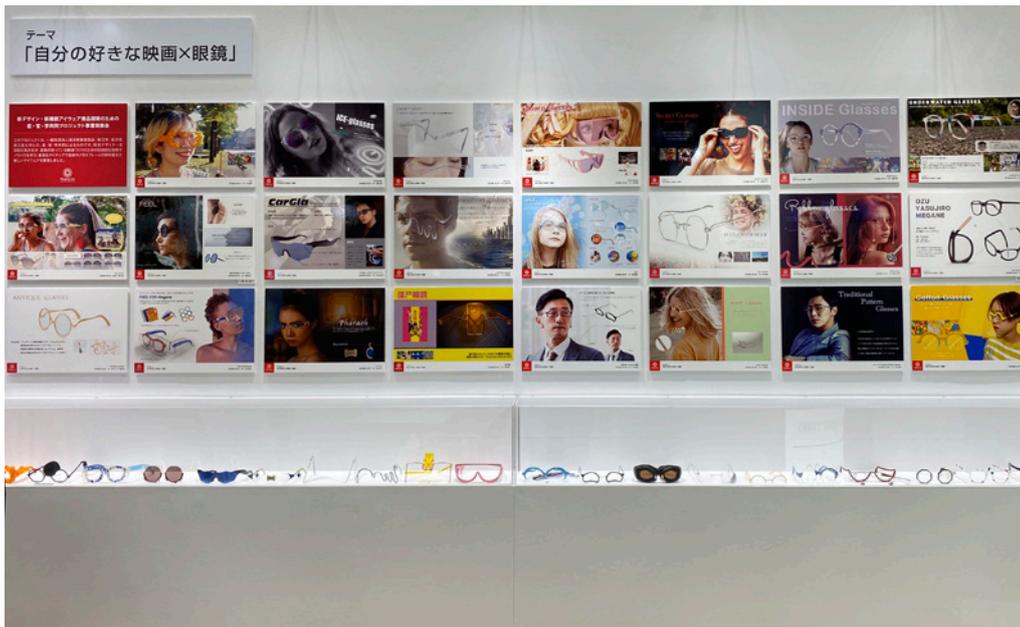
144

新しい価値を持った メガネフレームのデザイン研究 個人提案「自分の好きな映画×メガネ」 チーム提案「コロナ対策のメガネ」

福井県眼鏡協会との産学連携は今年度で20年目。他大学では類を見ない学生主体の「メガネ部」部活動としての受け入れ体制で、情報の引き継ぎ、ノウハウの蓄積、上級生から下級生への専門的なデザイン指導等、年々研究は深化している。

今年度は、4年生をリーダーにして4つのグループに分かれ、テーマは学生からの提案で、「自分の好きな映画×メガネ」とし、それぞれ個人のデザイン提案(23案)をパネルとモデルで行った。また、チームごとに「コロナ対策のメガネ」をテーマに各1案提案した。

作品はIOFT 国際メガネ展(東京ビックサイト)に出展し公表した。



IOFT 国際メガネ展 展示



オリエンテーション



最優秀賞のモデル

【委託者】

一般社団法人 福井県眼鏡協会

【期間】

2021年5月—2022年3月

【研究体制】

プロジェクト型

【担当教員】

浅野 隆 教授 デザイン科製品デザイン専攻

【参加学生】

部長 中山 綾鈴 製品デザイン専攻4年

副部長 後藤 采蘭 製品デザイン専攻4年

A グループ

リーダー 中山 綾鈴 製品デザイン専攻4年

坂田 七海 製品デザイン専攻4年

諸井 千穂 製品デザイン専攻4年

坂元 ゆりの 製品デザイン専攻4年

瀧本 千穂里 製品デザイン専攻2年

亀田 あかり 製品デザイン専攻1年

山田 琴琳 製品デザイン専攻1年

佐々川 璃子 芸術学専攻1年

B グループ

リーダー 後藤 采蘭 製品デザイン専攻4年

藤井 香菜子 製品デザイン専攻4年

近藤 桃子 製品デザイン専攻4年

菅原 菜月 製品デザイン専攻2年

富田 文香 製品デザイン専攻2年

芝山 昂太郎 製品デザイン専攻1年

中南 温恵 製品デザイン専攻1年

鈴木 若菜 視覚デザイン専攻1年

C グループ

リーダー 鈴木 凱道 製品デザイン専攻4年

森岡 さくら 製品デザイン専攻4年

黒田 絢子 製品デザイン専攻4年

谷 水彩紀 製品デザイン専攻2年

吉村 多喜 製品デザイン専攻2年

佐竹アリアシ 真南美 製品デザイン専攻1年

森島 小妃瑛 製品デザイン専攻1年

D グループ

リーダー 金丸 侑平 製品デザイン専攻4年

岩井 優典 製品デザイン専攻4年

関根 理人 製品デザイン専攻4年

古路 萌絵 製品デザイン専攻4年

市川 玲音 製品デザイン専攻2年

山田 真由 製品デザイン専攻1年

前川 桃葉 製品デザイン専攻1年

西野 花咲 製品デザイン専攻1年

【開発日程】

2021年

5月 オリエンテーション

(動画で告知)

5月27日 4つのグループに分かれ、各班アイズプレイクを行った。イメージボード作成 / 映画決定 アイデア展開

7月21日 中間発表(オンライン)

9月2日 産地デザイナーとの

意見交換会(オンライン) デザインブラッシュアップ、モデル制作

9月28日 最終プレゼン(オンライン)

10月4日 講評会:メガネ部2021表彰

最優秀賞:吉村多喜

「OZU YASUJIRO MEGANE」

優秀賞:菅原菜月

「FEEL 感覚を研ぎ澄ますメガネ」

グループ賞:Dグループ

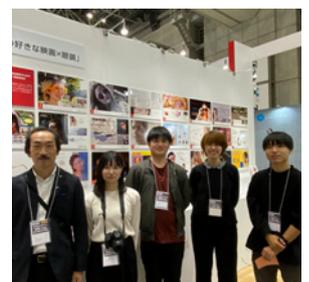
「Mouth-wear」

10月18日~20日

IOFT 国際メガネ展で展示、視察



優秀賞のモデル



IOFT 国際メガネ展視察

145

店舗リニューアルにおける
店内壁面のアート装飾

大正時代より兼六園石川橋の傍で、九谷焼の芸術性の高い作品から普段使いの道具までを扱う片岡光山堂から、店内の改装に合わせた陶片モザイク絵画の依頼があり、大学院絵画専攻油画コースの松田菜美恵さんを中心に8名の学生がサポートして制作したものである。先方からは金沢らしい内容で、来客者がSNS等で発信しやすく、また店内で行われる陶片モザイクのワークショップの活動を触発するデザインが求められた。制作は油画専攻の選択授業で行われる石割モザイク画の技法を活用し、必要なテッセラ（モザイク画におけるひとかけら）を先方から無償で提供された陶磁器から多数割り出し、厚さ9mmのベニヤ板に顔料を混入した有色モルタルで1つずつ固定した。

さらに店内空間の特性を読み込み、モザイク画の数と位置、大きさ、壁面と同一面にするなどを計画し、それに合わせてデザインされた壁面2面を施工会社に用意していただき、モザイク画をはめ込むことで完成した。



「完成壁面1」友禅等の柄を参考に華やかさと躍動感、上品さも兼ね備えたデザイン



「完成壁面2」ことじ燈籠や鼓門等の金沢の名所をポップな色調でまとめ上げている



実際の壁面で制作するモザイク画の大きさと形を検討した



不要になった商品から必要な大きさと色のテッセラを割り出す

【委託者】

有限会社片岡光山堂

【期間】

2021年4月～7月

【研究体制】

プロジェクト型

【担当教員】

高橋 治希 教授 美術科油画専攻

【参加学生】

デザイン・制作・施工

松田 菜美恵

大学院 修士課程
絵画専攻油画コース1年

制作・施工

臼田 健人

大学院 修士課程
絵画専攻油画コース1年

制作

高山 桃歌

油画専攻3年

松井 唯

油画専攻3年

今 菜摘

油画専攻1年

田中 鈴花

彫刻専攻2年

久家 志穂

彫刻専攻2年

遠藤 加央里

大学院 修士課程
工芸専攻1年

樹井 沙織

大学院 修士課程
工芸専攻1年

【開発日程】

2021年

- 2月17日 片岡光山堂にて初回下打ち合わせ
- 3月1日 片岡光山堂にて第2回下打ち合わせ
- 3月26日 テストピースの準備開始
- 4月1日 デザイン・テストピース作成開始
- 4月14日 施工現場にて設置場所及び工法打ち合わせ
- 4月19日 施工現場にてデザインと配置、工法について総合的に検討
- 4月27日 テストピース及び先行制作ピースを用いた施工確認
- 5月14日～6月27日 学内にてグループで各陶片モザイクを制作
- 6月28日、29日 施工現場での設置作業
- 7月5日 作品細部等の修正作業
- 7月11日 キャプションの掲示



学内で制作したモザイク画をボンドとビスで固定しモルタルで壁面と一体化させる

146

ダイダン株式会社 北陸支店新社屋 洗面ボウル制作

ダイダン株式会社が新社屋を建築するにあたり、社内3箇所のトイレ内に合計5個設置する洗面ボウルを本学学生の手でデザイン・制作してほしいとの依頼があった。「伝統と革新」というダイダン株式会社の理念のもと、伝統的な要素を取り入れながら学生自らの個性を盛り込んだデザイン案が多数提出された。

制作には本学助手の今西泰起がろくろ成形を担当し、成形後まだ柔らかい状態の素地に学生が彫り込みや押印などの技法を使いながらレリーフ造形を行い、素焼きののち釉薬による彩色を行った。また一部の作品ではさらに上絵による加飾も施した。設置場所となる洗面所のカウンターの素材や色の指定も学生に委ねられ、作品に応じた色彩計画が立てられたことで空間の調和を図ることができた。

作品の近くには大学名と学生の氏名が刻まれた金属製のプレートが埋め込まれ、企業と大学とのつながりが目に見える形となったのである。



2022年3月末に設置完成した洗面所



男性トイレ内設置作品



男性トイレ内設置作品

【委託者】

株式会社日本空調北陸

【期間】

2021年5月—2022年3月

【研究体制】

プロジェクト型

【担当教員】

山本 健史 教授 工芸科

【参加学生】

遠藤 加央里

大学院 修士課程
工芸専攻1年

岡松 美帆

大学院 修士課程
工芸専攻1年

【開発日程】

2021年

7月5日 設置現場の説明と洗面ボウルサイズなどに関する打ち合わせ

7月29日 デザイン案提示

8月3日 デザイン決定

9月30日 成形完了

10月20日 試作品打ち合わせ

10月21日—12月8日

絵付けと焼成など

12月9日 焼成完了作品の確認打ち合わせ

12月23日 完成作品5点の引き渡し

2022年

2月3日 作品タイトル・コンセプトなどの付帯情報提出

2月28日 洗面ボウル近くに設置する情報プレートのデータ提出

3月31日 現場施工



女性トイレ内設置作品



共用トイレ内設置作品

147

ビル内移動・サービス向け
UI/UX アイデア展開

住民・来訪者がより良い経験・価値を得、金沢の街を活性化する製品・サービスのアイデア創出するための共同研究である。

ワークショップではビルに関する調査や分析からアイデアを抽出し共有した。スケッチとモデルによるアイデア展開を行い、中間発表会においてコンセプトを決定した。現場での実験と検証を重ねながら改良を加え、コンセプトとUX アイデアを精査した。最終発表会において、三菱電機デザイン研究所と本学をオンラインで繋ぎ、学生の発表内容を企業デザイナーの皆さんにも伝えることができた。人口減少やIoT化、都市のスマート化、コロナ禍など、これまでの状況が大きく変化する環境において、ユーザーが求めるもの・こと・価値感の変化からビルに求められていることを反映する提案としてまとめた。



研究概要説明



ワークショップ

[委託者]

三菱電機株式会社 統合デザイン研究所

[期間]

2021年6月—2022年3月

[研究体制]

プロジェクト型

[担当教員]

村中 稔 教授 デザイン科製品デザイン専攻

[参加学生]

一本木 幸 製品デザイン専攻3年
 岡橋 李笑 製品デザイン専攻3年
 小畑 芽音 製品デザイン専攻3年
 篝 佑伽 製品デザイン専攻3年
 梶原 万穂 製品デザイン専攻3年
 木下 航輔 製品デザイン専攻3年
 黒田 裕晟 製品デザイン専攻3年
 齋藤 柚香 製品デザイン専攻3年
 實淵 諒 製品デザイン専攻3年
 島崎 紗栄 製品デザイン専攻3年
 高瀬 睦 製品デザイン専攻3年
 鷹野 すみれ 製品デザイン専攻3年
 中根 海人 製品デザイン専攻3年
 中根 康博 製品デザイン専攻3年
 野中 明斗 製品デザイン専攻3年
 原 周平 製品デザイン専攻3年
 廣瀬 由羽 製品デザイン専攻3年
 堀内 太郎 製品デザイン専攻3年
 松野 修誠 製品デザイン専攻3年
 宮崎 貴裕 製品デザイン専攻3年
 山下 聖奈 製品デザイン専攻3年

[開発日程]

2021年

8月3日 事前打合せ
 8月5日 プロジェクト開始/
 事前調査依頼
 10月1日 調査結果報告/
 ワークショップ
 10月15日 中間発表/コンセプト決定
 11月9日 最終プレゼンテーション
 11月10日～ 報告書作成



コンセプト発表



最終プレゼンテーション

148

冬季イルミネーションの空間演出計画

金沢村田製作所の従業員や会社を訪れた人たちに楽しんでもらうため、敷地内に夜だけでなく昼も楽しめるイルミネーション作品を約1年かけて制作した。

「人々の暮らしを守るイノベーター」をテーマに、「SPARKLE」というコンセプトで近未来的な空間を企画し、三角形の偏光フィルムを多用した色鮮やかなシンボルツリーと4万3千個の発光ダイオード(LED)の装飾で幻想的な空間を演出した。

デザイン提案したものが実際に実寸で完成したこと、施工プロセスを見学できたこと、多くの方の感想や意見をフィードバックしていただく貴重な機会をいただいたことにより大変充実した研究となった。



日中のシンボルツリーの様子



最終提案模型



シンボルツリー施工確認

[委託者]

株式会社金沢村田製作所

[期間]

2021年4月—2022年3月

[研究体制]

プロジェクト型

[担当教員]

畝野 裕司 教授 デザイン科環境デザイン専攻

[参加学生]

藤田 しずく	環境デザイン専攻3年
川畑 紗季	環境デザイン専攻3年
中村 光輔	環境デザイン専攻3年
児玉 菜緒	環境デザイン専攻2年
中村 彩	環境デザイン専攻2年
中村 貫二	環境デザイン専攻2年

[開発日程]

2021年

4月13日	キックオフ打ち合わせ
5月11日	アイデア方向性確認打ち合わせ
6月16日	中間デザインプレゼンテーション1
7月11日	中間デザインプレゼンテーション2
7月28日	最終デザインプレゼンテーション
10月20日	施工状況確認
11月12日	活動報告会・点灯式



最終活動報告会



点灯式

149

「これからの TAKE OUT 容器」
デザイン研究

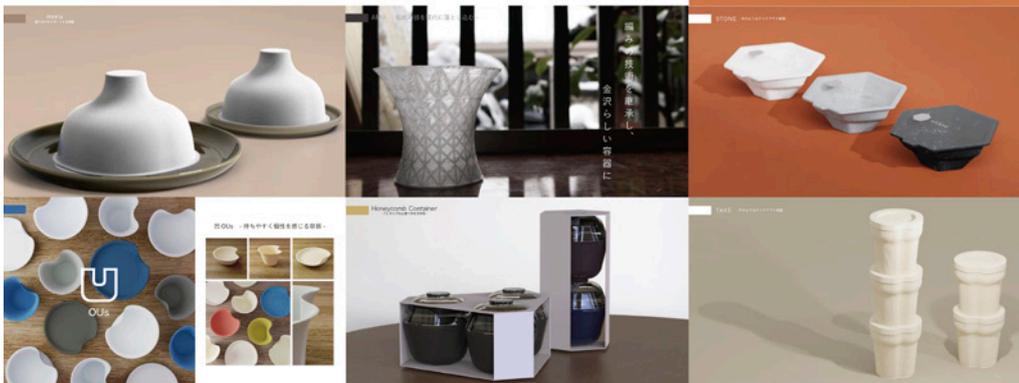
SDGs に関連した法改正が進めば、そう遠くない将来プラスチックへの社会からの風当たりはより強くなると思われる。そのような状況のなか、食の安心・安全と安定供給を実現するため、これから求められるであろう付加価値を取り込んだ「TAKE OUT 容器」をデザインした。

プラスチックは軽い、耐久性が高い、加工しやすいなどのメリットがある一方、自然分解されず、環境に流出すると半永久的に残ってしまう点が大きな問題とされている。ただ、エコという観点からいえば、すべてのプラスチックが悪くはない。日本におけるプラスチックのリサイクルは、熱エネルギーを回収するサーマルリサイクルと、製品から製品へとリサイクルすることで、より環境に優しい素材ともいわれている。

学生と共に研究を進めれば進めるほど、プラスチックと紙のどちらのリサイクルにもメリットとデメリットがあることが理解できた。食の安心・安全と安定供給を可能にする食品パッケージに、環境負荷低減だけでなく人の気持ちに配慮し前向きなデザインに取り組むことができた。

これからの TAKE OUT 容器

- ありそうでなかったユニークで話題性のある容器のデザイン -



中間プレゼンテーション



ラフモデル

[委託者]

馬場化学工業株式会社

[期間]

2021年6月—2022年3月

[研究体制]

プロジェクト型

[担当教員]

畝野 裕司 教授 デザイン科環境デザイン専攻

[参加学生]

明石 伶旺	環境デザイン専攻3年
上野 航	環境デザイン専攻3年
中村 光輔	環境デザイン専攻3年
金子 率	環境デザイン専攻2年
巻野 晃也	環境デザイン専攻2年
山梨 蓮	環境デザイン専攻2年

[開発日程]

2021年

6月29日 キックオフ MTG
7月15日 昨年のプロジェクト報告会
8月10日 第一回 体験調査
(種類の容器の違いについての調査)
8月20日 web 調査発表会
8月20日 第二回 体験調査
(価格による容器の違いについての調査)
9月21日 フラッシュアイデア発表会
9月21日 第三回 体験調査
(Uber での注文実態調査)
11月19日 ラビットモデル確認
12月17日 中間デザインプレゼンテーション
12月23日 ラビットモデルのリアル評価会

2022年

2月24日 最終デザインプレゼンテーション



最終プレゼンテーション



最終デザインモデル

151

毎日新聞の150周年を迎えた今年の取り組みのひとつとして、金沢美術工芸大学とのワークショップを行った。社会を構成する人々の様々な声のひとつとして、若い世代である学生の声を紙面を通して伝える試み。学生たちの声は、2月27日の毎日新聞朝刊にて、広告原稿といったかたちで、広告として掲載した。テーマとなった「例えば、〇〇を「 」と呼んでみる」の「 」内の言葉はすべて学生のみなさんがワークショップで考えたアイデアである。

「毎日新聞創刊150年」新聞広告



毎日新聞のメイン画像



授業の様子



授業の様子

【委託者】

株式会社 毎日新聞社

【期間】

2021年10月—2022年3月

【研究体制】

プロジェクト型

【担当教員】

下浜 臨太郎 講師 デザイン科視覚デザイン専攻

【参加学生】

青山 豊野	視覚デザイン専攻2年
赤松 弥彦	視覚デザイン専攻2年
麻生 香凜	視覚デザイン専攻2年
足立 音羽	視覚デザイン専攻2年
伊藤 菜々葉	視覚デザイン専攻2年
伊藤 優汰	視覚デザイン専攻2年
大谷 周	視覚デザイン専攻2年
乙幡 向日葵	視覚デザイン専攻2年
梶崎 有花	視覚デザイン専攻2年
相良 実和	視覚デザイン専攻2年
佐藤 璃青	視覚デザイン専攻2年
角田 優紀	視覚デザイン専攻2年
多賀 絵里衣	視覚デザイン専攻2年
竹萬 拓人	視覚デザイン専攻2年
中尾 蘭	視覚デザイン専攻2年
中村 侑芽奈	視覚デザイン専攻2年
溝口 佳菜	視覚デザイン専攻2年
宗像 紗未	視覚デザイン専攻2年

【開発日程】

2021年10月1日～2022年2月27日
毎週水曜 ワークショップ

152

新番組の番組キービジュアル、
CG映像の制作

NHKの石川・富山・福井の3局合同で企画した、新番組の「顔」となるメインビジュアルとオープニング映像制作を依頼された。番組のコンセプトは「北陸のあしたを、もっと自由にしようぜ!」北陸の人やモノを改めて見つめ直し、「そんな人たちがいたのか!」「そんな考え方や見かたもあったのか!」と叫びたくなる、北陸の知られざる姿を伝えたい、というロックなイメージを、学生の若い感性でわずか1ヶ月半という厳しいスケジュールの中、ZOOMでのリモート会議を中心に情報共有をおこない、NHKからの依頼を満足させる映像が完成した。参加した学生にとって依頼された内容を理解し、企画提案、途中のデータ修正、納期厳守など課題以上のプレッシャーを乗り越え、完成後は自分たちの作品がオンエアされる喜びも感じられる達成感のあるプロジェクトとなった。

4月15日からの新番組オンエアぜひご覧ください。



キービジュアル



[委託者]

NHK 日本放送協会

[期間]

2022年2月-3月

[研究体制]

プロジェクト型

[担当教員]

寺井 剛敏 教授 デザイン科視覚デザイン専攻

[参加学生]

伊藤 優汰 視覚デザイン専攻2年
 梶崎 有花 視覚デザイン専攻2年
 相良 実和 視覚デザイン専攻2年
 中尾 蘭 視覚デザイン専攻2年

[開発日程]

2022年

2月8日 ZOOM オリエンテーション
 2月14日 美大にて、学生4人から
 検討案提出および打合せ
 2月17日 ZOOM 提案より
 映像の方向性決定
 2月24日 ZOOM 午前、夕方と
 データ修正など確認
 2月28日 ZOOM 映像の
 全体イメージ調整確認
 3月10日 ZOOM 最終イメージ確認
 3月17日 ZOOM 色合いなど微修正、
 音楽との連動確認
 3月22日 最終データ納品
 3月31日 インタビュー画像など撮影納品
 4月15日 新番組「ホクロック!」
 オンエア予定:
 毎週金曜日 19:30 ~ 19:55



オリエンテーション



リモートミーティング

A06

A06 北陸銀行 金沢中央支店における作品展示

A06

本企画は金沢美術工芸大学と北陸銀行の連携協力に関する協定に基づき、学生の研究成果の発表の場を提供するとともに文化芸術を地域社会に発信する機会とするものである。

銀行内の応接室や会議室などに、本学修士課程絵画専攻の作品を展示することで、職場に潤いを与えるとともに、行員はもとより来客等にも絵画の鑑賞の場を提供し、豊かな芸術文化を味わう機会となっている。

北陸銀行 金沢中央支店における作品展示



接客ブース風景 山田 美智子「河川敷」



展示作業



川田 美有「居る」

【委託者】

株式会社 北陸銀行 金沢中央支店

【期間】

2021年11月—2022年11月

【研究体制】

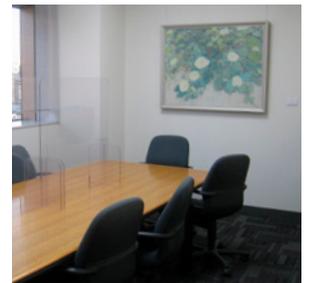
プロジェクト型

【担当教員】

石田 陽介 教授 社会連携担当理事
松崎 十朗 教授 美術科日本画専攻
三浦 賢治 教授 美術科油画専攻

【参加学生】

川田 美有 大学院 修士課程
絵画専攻日本画コース1年
森 花 大学院 修士課程
絵画専攻日本画コース1年
山田 美智子 大学院 修士課程
絵画専攻油画コース1年



森 花「雨を待つ」



山田 美智子「橋」



